

2012年4月3日
北海道ガス株式会社

2012年度事業計画について

当社では、「2011 中期経営計画」において「天然ガスの普及拡大」「長期的な視点に立った天然ガス供給基盤の確立」「安全高度化計画の着実な推進」等を重点施策と位置づけ対策を進めてまいりました。特に2009年5月に開始した「石狩LNG基地」の建設工事については、今年12月の運転開始に向け、現在、準備を精力的に進めているところです。

東日本大震災以降、日本の社会・経済情勢が変化するなか、都市ガス事業を取り巻く環境が大きく変化しています。LNG価格は上昇傾向にあります。エネルギーセキュリティ向上への社会的要請や分散型エネルギーに対する期待などから、天然ガスとその高度利用技術の重要性がますます高まっています。

2012年度については、「天然ガスの普及拡大」と「持続的な成長を可能とする事業基盤の確立」を2本柱とし、事業運営を進めてまいります。お客さまの安全・安心を最優先にしながら、北海道における天然ガスの安定供給基盤を確立し、道内一円への天然ガス普及拡大に取り組むことで、地域に根差すエネルギー事業者としての責任を果たしてまいります。

【2012年度の事業環境と事業運営の2本柱】

震災後のエネルギー事業を取りまく環境変化

- エネルギーセキュリティへの要請
- 天然ガスの高度利用と分散型エネルギーへの期待
- エネルギー政策における天然ガスシフト
- LNG価格の上昇

● LNG本格導入による事業環境の変化

事業運営の2本柱

1. 天然ガスの普及拡大
2. 持続的な成長を可能とする事業基盤の確立



2015年度でガス販売量6億m³を達成し、早期に7億m³の実現を目指す

2012 年度事業計画

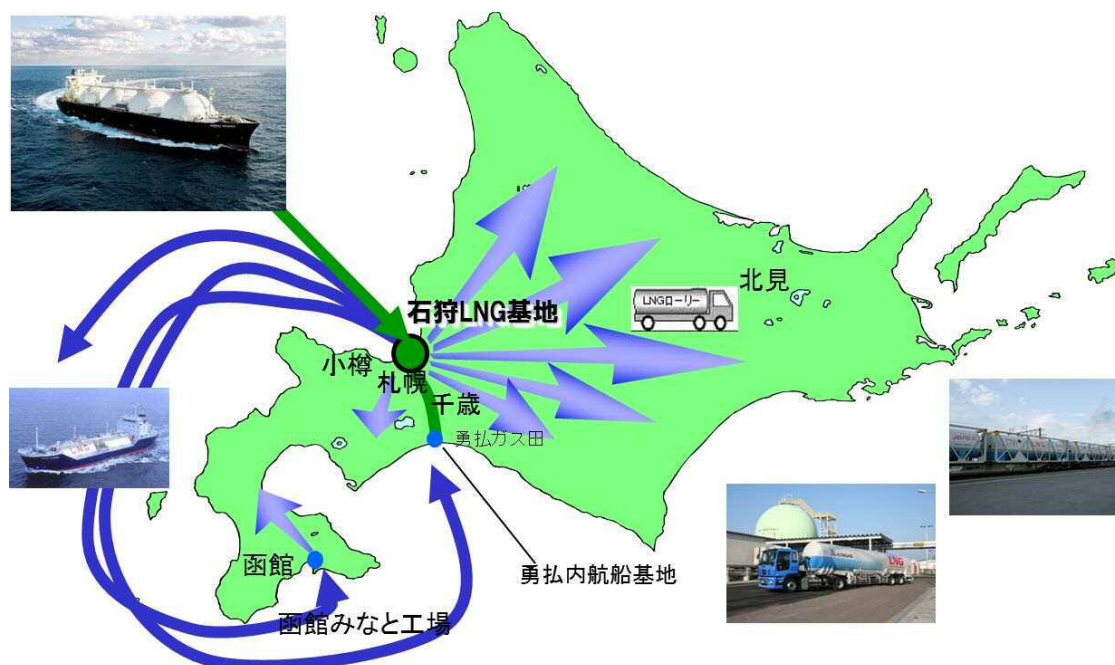
1. 石狩LNG基地の運転開始

本年 12 月の運転開始に向け、10 月 7 日にはサハリンからLNGタンカー第 1 船が入港し、実際のLNGを使った試運転を行う予定です。

運転開始により、天然ガスの供給源が勇払ガス田と 2 ソース化となりエネルギーセキュリティが向上すると同時に、天然ガスの安定した供給基盤が確立し、道内一円へ天然ガスの普及拡大が可能となります。今後も運転開始に向け、着実に建設工事を進めてまいります。



天然ガスの供給基盤確立と道内一円への普及拡大が可能に



2. 天然ガスの普及拡大に向けて

営業部門への要員の重点配置を行い、家庭用を中心とした天然ガスへの燃料転換営業を強化します。また、寒冷地技術開発と人材育成の拠点として新技術開発研究所の建設を進めてまいります。

1) 営業強化

① 家庭用既築分野

- ・フレアストと一体となった営業体制を強化し、エコジョーズを主体とした燃料転換営業を強化します。
- ・集合物件オーナーや管理会社への営業を強化するほか、マイホーム発電(コレモ)の営業も開始します。



② 家庭用新築分野

- ・マイホーム発電、エコジョーズ、Factを主体とした営業展開を強化するほか、先進性の高いシステム提案を推進します。
- ・他燃料志向のサブユーザーへの営業を強化し、シェア維持・向上に努めます。



<2012 年度営業目標>

■ガスマイホーム発電 170 台(新築)

■エコジョーズ・Fact

	シェア	獲得件数	備考
一戸建住宅(既築)	—	1,500件	燃料転換 (エコジョーズ)
一戸建住宅(新築)	60%	1,750件	エコジョーズ
集合住宅(既築)	—	1,400件	燃料転換 (給湯器、FF暖房機)
分譲マンション	90%	1,900件	Fact

※分譲マンションシェアは札幌市内に竣工する分譲マンションに対するシェア
 ※新築一戸建住宅のシェアはガス管理設地区に対するシェア

③業務用

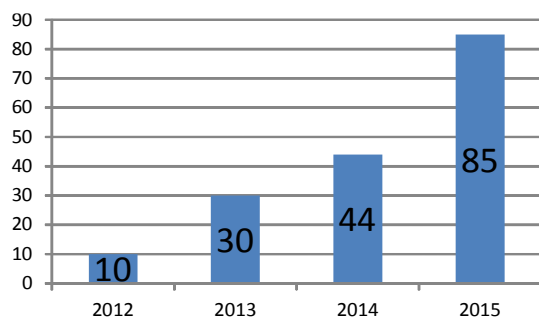
病院、老健施設、保育園などをターゲットとし、厨房・空調のガス化営業を推進します。また、要員の重点配置により省エネルギーを切り口とした他燃料から天然ガスへの燃料転換営業を強化するほか、中小口業務用をターゲットとしたエリア巡回営業や厨房メーカーと協同で提案営業を強化します。

④産業用

都市ガス導管網が整備されていない地域での産業用大口需要をターゲットにした「LNG サテライト供給」について、広域圏での需要調査と訪問営業活動を強化し、今年度は1万トンの販売量を目指します。



■LNG サテライト供給販売目標(千t)



2) 新技術開発研究所

- 北海道における天然ガスの普及拡大および安全・安心を支える寒冷地技術(機器、システム、導管)開発と人材育成の拠点とし、地域社会の発展と環境調和型社会の形成に貢献する施設を目指します。

■建設地: 札幌市厚別区大谷地東1丁目

■工期: 2011年12月着工、2013年4月運用開始



3) スマートエネルギーハウスの共同研究

- ・寒冷地仕様スマートエネルギーハウスについて北海道大学と共同研究を実施します。
- ・今年度はモニター宅に太陽光発電、燃料電池、蓄電池を設置した実証研究を開始します。

3. 安全・安心のために

1) 白ガス経年埋設管対策の推進

保安上重要とされている建物の白ガス経年埋設管対策について、2015年の完了をめざし、引き続き取り組みを着実に進めてまいります。

※ねずみ鑄鉄管対策につきましては、2011年度に完了しております。

2) 消費機器安全対策等

不完全燃焼防止装置のない半密閉式の湯沸かし器や風呂釜を対象に、安全機器への取り替え促進に取り組み、今年度中に概ね100%の完了を目指します。

このほか、全口に安全センサーが付いたSiセンサーコンロについても、年間1万台の販売を目指します。

3) ガバナ遠隔監視制御システムの本格運用開始

地震等の非常災害発生時の二次災害防止と早期復旧を目的に、ガス導管網の被災状況把握と被災地区のガス供給停止を速やかに行えるよう、2008年から整備を進めてきたガバナ遠隔監視制御システムについて、今年度より運用を開始します。

4. 持続的成長を可能とする事業改革の推進

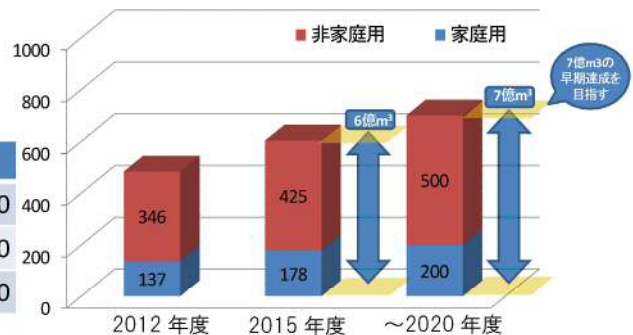
お客さま接点業務をはじめとした仕事の仕組みの抜本的な見直しに、北ガスグループ全体で取り組んでいきます。

5. ガス販売量・設備投資

2015年度でガス販売量6億 m^3 を達成し、2020年度までのできるだけ早期に7億 m^3 を目指します。

■ ガス販売量目標(百万 m^3)

	2012年度	2015年度	~2020年度
家庭用	137	178	200
非家庭用	346	425	500
合計	483	604	700



■ 設備投資(百万円)

	2011年度 (見通し)	2012年度	備考 (主な内容)
製造設備	3,788	4,001	石狩LNG基地
供給設備	8,173	5,435	導管整備
業務設備	291	715	
土地・建物	639	1,000	新技術開発研究所
合計	12,891	11,150	

以上